

View-point

がん診療

「乳がん」

企画：高野利実
(虎の門病院 臨床腫瘍科)

Answer：新倉直樹
(東海大学医学部外科学系 乳腺内分泌外科)

下井辰徳
(国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科)

尾崎由記範
(虎の門病院 臨床腫瘍科)

予防、診断、治療、フォロー、サポート。

すべての患者に対して、標準的な治療・ケアが適用できるわけではありません。様々な合併症、薬剤の相互作用、心理的サポートの介入時期、患者ニーズへの対応、医療経済的問題……。

がん診療では、そのほとんどのケースにおいて、個別性が前提となっています。標準治療の少し先を考えるためには、現場に即した「問い」と異なった視点による「答え」を知ることでも必要ではないでしょうか。

そこで、本特集では、総論とQ&A形式による二段構成で、がん診療の「リアルなベシック」を提示します。

Q&Aは企画者が設定しました。それぞれ施設属性の異なる3名のエキスパートが、視点の異なる考えを提示します。どれかひとつが正解ということではありません。ひとつでもあなたの目の前の患者の姿に重なることを期待します。